

令和5年度青少年体験学習事業で重点的に取り組む課題に対する結果について

項目	内容
青少年体験学習事業の課題	青少年体験学習事業について、令和4年度まで2年間実施した陶芸体験学習は、参加者から満足度が高い講座であったが、事業運営を他機関に移管して実施することとなった。陶芸体験学習に代わる新たな講座を検討する。
課題解決に向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年体験学習事業について、令和4年度まで2年間実施した陶芸体験学習は、参加者から満足度が高い講座であったが、事業運営を他機関に移管して実施することとなった。陶芸体験学習に代わる新たな講座を検討する。 ・参加者について、保育園等における年中から小学生までが多数を占めるが、中学生の参加を促すため、講座の実施方法を工夫する（子どもの参加者の20%程度）。
達成目標	「新しくやりたいことが見つかった」「自分でできることが増えた」「アイデアを考えたり、工夫したりできた」といった学習変化が表れる参加者を増やす。
指標	講座実施後における参加者へのアンケート調査
令和5年度目標値	50%
令和5年度実績値	61.6%
目標達成度に関する評価・分析	<ul style="list-style-type: none"> ・「ステンドグラス制作体験教室」は、今年度から新たに始めた教室であったが、「ドローンプログラミング教室」とともに、受講申込者が募集定員を上回り、抽選で参加者を決定したことから、市民の学習ニーズに沿った魅力ある教室を実施できた。 ・学習ニーズが高く、人気のある教室を開催していることもあり、抽選等により参加できない申込者が多い状況となっていることから、希望者全員に学習機会を提供できるよう、教室の開催数や開催時期について工夫していきたい。